2023年度　立正グループ　CS活動/運輸安全マネジメント（RTSマネジメント）活動計画スケジュール

分類	項目	内容	実施事項	年間スケジュール											
				12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
				年末安全輸送点検	年始安全輸送点検（冬期安全運転）	飲酒運転の根絶	荷役作業の点検強化	春の交通安全運動指導（点呼の強化月間）	ドライバー指導監督強化	安全走行の確認	エコ・ドライブ（省エネ運転）	車両点検強化	秋の交通安全運動指導	健康管理指導強化	年度末総決算 年間目標の達成
Ⅰ 管理・推進体制	1.「ＣＳ/ＲＴＳ管理体制」の構築	「ＣＳ/ＲＴＳ管理体制」を構築し、ＣＳ（物流品質向上）推進活動/ＲＴＳマネジメントに取り組む。	・ＣＳ/ＲＴＳ管理体制の編成 ・ＣＳ活動/ＲＴＳマネジメント活動計画の策定、方針の説明	CS活動方針の表明										問題点の把握、意見収集	方針、目標の検討 作成
	2.「ＣＳ/ＲＴＳマネジメント会議」の開催	各事業所管理者による「ＣＳ/ＲＴＳマネジメント会議」を月１回開催する。 重要問題について検討し方針を決定、進捗を検分し、次段階の対策を講ずる。	・月１回、ＣＳ/ＲＴＳマネジメント会議の開催						CS会議の開催（毎月1回）						
	3.「安全運営会議」を開催する	事業所毎に月１回の安全運営会議を開催する。 「ＣＳ/ＲＴＳマネジメント会議」による方針決定に基づき、各事業所ごとの具体的取り組みを検討し、決定する。	・月１回、安全運営会議の開催						拠点会議の開催（毎月1回）						
	4.「班長会議」を開催する	月1回以上開催する。 「安全運営会議」の決定を踏まえ、班活動への展開・取組みを検討し、班活動を推進する。	・月１回、班長会議の開催						班長会議の開催（毎月1回）						
	5.「班会議」を開催する	月1回以上開催する。 「班長会議」の決定事項を実行し、問題点を検討する。　また、情報の共有化を図る。	・月１回、班会議の開催						班会議の開催（毎月1回）						
	6.「ＣＳ協議会」を開催する	年間２回以上開催する。 関係会社とＣＳ（物流品質）向上に関する情報交換、並びに諸活動を共有する。	・年２回、ＣＳ協議会の開催			CS協議会の開催								CS協議会の開催	
	7.「目標管理」活動の取組	ＣＳ活動/ＲＴＳマネジメント活動の実績を、「目標管理制度」に基づいて評価する。 諸活動の記録は「目標管理活動」の資料とし、社内ノウハウの蓄積をはかる。	・目標管理制度に基づき、査定の実施（年２回）							査定の実施					査定の実施
	8.個人面談を実施する	年間２回（前・後期）以上実施する。 「目標管理制度」に基いて個人面談を実施しCS活動/ＲＴＳマネジメント活動の成果、達成度を評価指導する。	・個人面談（年２回以上）	個人面談							個人面談				
	9.「ＣＳ研修会」を実施する	年２回研修会を開催する。 ＣＳ活動の理解を深め、幅広い展開を図る。	・年２回、ＣＳ研修会の開催							CS研修会					CS研修会
	10. 管理体制の強化	外部団体による専門的な指導のもと、管理者に対して教育を実施する。 管理者が部下に対して適切に指導し、改善できるような体制を構築し、その強化を図る。	・インターリスク総研による管理者教育の実施						管理者教育（毎月1回）						
	11. 管理者への教育	管理者に対して、各種機関による教育を積極的に活用し、専門家による教育を通じてスキルの向上を図る。	・専門機関による運行管理者教育の実施（適時）						管理者教育（毎月1回）						
Ⅱ RTSへの取組	1. ＲＴＳマネジメントへの取組	ＲＴＳマネジメントシステムの推進に伴い、ＲＴＳ方針の表明、目標の設定を行い、評価、監査、見直しを行う。（別紙ＲＴＳ方針・計画参照）	・ＲＴＳマネジメントシステムの運用						安全マネジメント委員会（毎月1回）						
	2. 運輸安全マネジメントへの取組	運輸安全マネジメントシステムの推進に伴い、安全方針の表明、目標の設定を行い、評価、監査、見直しを行う。（別紙ＣＳ活動/運輸安全マネジメント活動計画参照）	・運輸安全マネジメントシステムの運用						専門教育（定期）						
	3. Ｇマークの運営	営業所ごとにＧマーク「安全性優良事業所」認定の運営に努める。	・Ｇマーク取得更新と運営						Ｇマーク取得認定（更新）						
	4. 交通安全運動	全国交通安全運動（春・秋）、年末年始の輸送の安全総点検等に積極的に取り組む。 各種運動への取り組みに加え、独自活動を実施する。	・全国交通安全運動（春・秋） ・年末年始輸送安全総点検	年末年始安全輸送点検				春の交通安全運動					秋の交通安全運動		
	5. 安全運転スキルの向上	インターネット適性診断システム「ＮＡＳ－ＶＡＮＥＴ」等を活用し、安全運転スキルの向上を図る。 社内安全講習（コンサルタント・教習所等監修）を実施し、運転技能を高める。	・ＮＡＳ－ＶＡＮＥＴ診断実施 ・クレフィール湖東による管理者教育の実施						NAS－VANET診断実施（随時） 管理者教育（毎月1回）						
	6. 事故対策	ドライブレコーダーを用いたヒヤリ・ハット活動を通じて、事故防止を図る。 発生した事故に対して適切に分析し、今後の事故防止のための対策を講じる。	・交通ヒヤリ・ハットによる危険予知訓練（月１回） ・事故報告書・事故分析の提出、検証				作業標準の見直し								
	7. 新人教育	安全運転教育マニュアルを策定し、新人に対し、マニュアルに基づいた指導を実施する。（特にトラック ドライバー対象）	・新人安全運転教育マニュアル（評価システム）												
	8. 輸送の安全教育	自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督を実施する。	・月１回	トラックを運転する場合の心構え	トラックの運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項	トラックの構造上の特性	貨物の正しい積載方法	過積載の危険性	危険物を運搬する場合に留意すべき事項	適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況	危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法	運転者の運転適性に応じた安全運転	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法	健康管理の重要性	安全性の向上を図るための装置を備えるトラックの適切な運転方法
Ⅲ 環境への取組	※グリーン経営の実施	「グリーン経営計画」に基づき、諸活動を実施する。（別紙グリーン経営計画参照） エコドライブ運動の実施に努める。（詳細別紙グリーン経営計画参照） 「グリーン経営計画」に基づく月例点検チェックリストを用い、毎月1度指定された車輌の点検を実施する。	・別紙グリーン経営計画参照					エコ・ドライブコンテスト			エコ・ドライブ強化月間		エコ・ドライブコンテスト		
Ⅳ 物流品質向上への取組	1. 作業手順を整備する	各種作業の手順を見直し・整備し、マニュアルを改訂し実務に適用する。	・マニュアルの改訂 ・作業点検の実施		マニュアルの見直し								作業点検の実施		マニュアルの改訂
	2. 点検基準を整備する	安全基準及びグリーン経営認証基準にのっとり、車両を整備し、記録を保存する。	・別紙グリーン経営計画参照												
	3. 設備・機材等を管理する	荷役ホース、器具・備品、並びに設備等の見直し、管理強化を図る。 車両付帯設備・器具等の規格の統一化を図る。	・設備点検の実施 ・設備・器具の定期点検の実施		設備点検の実施 設備・器具点検の実施						設備点検の実施 設備・器具点検の実施				
	4. 物性教育を実施する	物性教育・訓練等を実施する。 商品の化学的特性に関する教育・実地教育を実施する。	・取扱商品の物性教育の強化 ・漏洩時処理（中和訓練）の実施					物性教育		中和訓練					
	5.「緊急時体制」の強化を図る	緊急連絡網の見直しを図る。 緊急時出動用機材等を整備し、管理強化を図る。 「緊急時体制」に基づく模擬訓練を実施する。 客先、並びに行政機関が主催する「防災訓練」等に積極的に参加する。	・「緊急連絡網」の見直し実施 ・緊急時出動資材の整備 ・「緊急時体制」模擬訓練の実施 ・「高圧ガス防災訓練」「客先防災訓練」							緊急時模擬訓練					高圧ガス防災訓練
	6. 管理チェックの実施	添乗ＣＳチェックを実施する（年間２回）。 安全パトロールの年1回実施。 管理項目および活動記録をチェックし、未達成項目について、勧告・指導する。	・年２回、添乗チェックの実施 ・安全パトロールの実施（年１回） ・管理シートに基づき、班活動にて勧告・指導	個人面談						添乗チェック 安全パトロール	個人面談			添乗チェック	
Ⅴ 基本事項	1. 届先台帳の整備・活用	「届先検索システム」のデーター更新を迅速に行い、最新の客先情報の共有化を図る。 配車確定後、担当乗務員に届先情報をチェックさせる。 新規客先の納入事前調査、点呼時の聞取り情報、ヒヤリ気がかり提案、その他の情報を迅速に「届先検索システム」に反映させる。	・「届先検索システム」の更新管理（毎月の更新チェック）												
	2. 指差呼称の徹底	荷役作業時「指差呼称」の完全実施を図る。 就業、並びに終業時に指差呼称演練を実施する。 添乗ＣＳチェック時、並びに積地パトロールにて指導・啓蒙を図る。	・添乗チェック、安全パトロールの実施を踏まえて指導 ・社内コンテストの実施				職場の安全点検				指差呼称コンテスト				
	3. ひやり気がかり提案	ひやり気がかり提案の質的向上を図り、その活用に努める。	・ヒヤリ・気がかり提案の提出と班会議でのフィードバック												
	4. 点呼の強化	運行前・後の「点呼」の強化を図る。 運行後点呼時はデジタコのチェックを行い、安全運転・環境運転への評価・指導を行う。 乗務員に届先情報をチェックさせる。 アルコールチェッカーを活用し、安全運行への体調管理を行う。	・立会点呼の実施強化 ・始業前のアルコールチェックの徹底						点呼の実施強化月間				アルコールチェックの実施強化月		
	5. ５Ｓ活動の推進	車両・職場環境に重点をおいた５Ｓ活動を強化する。 各場所周辺の美化に努める。	・別紙安全衛生推進計画参照												
	6. 月度重点目標への取組	各場所毎に月度におけるＣＳ活動重点取組み目標を設定し、実施する。	・重点活動項目の実施												
※安全衛生推進活動		社外各種運動、全国週間等への参加等別紙「安全衛生推進計画表」に基づく	・別紙安全衛生推進計画参照						5Sの点検						